



はちのす

木戸小学校学校だより
令和4年5月16日
No.263
在籍児童数404名
令和4年5月9日現在

当たり前の日常を過ごせることのありがたさを感じながら

校長 土田 学

令和4年度が始まってから1月がたちました。学校では2年生のアグリパークや3年生の交通安全教室、1年生の学校探検など、計画していた教育活動を予定通り行うことができています。また4月27日にはZoomによる学習参観を全学級で行いました。入学してきた1年生も休み時間になると元気にグラウンドや木戸っ子ランドで遊んでいます。上の学年の子どもたちも、1年生と一緒に登校するために登校時間が早まったり、雨の日に1年生の濡れた雨具の始末をしてあげるなどとても優しい姿をみせてくれたりと、1年生のお世話をする中で確実に成長した姿を見せてくれています。

このように、日常の生活を送ることができその中で子どもたちが成長した姿を見せてくれていることを本当にありがたく思っています。

5月の全校朝会で、昨今の世界の情勢について話をしました。そして子どもたちに2つのことを考えてほしいという話をしました。

一つは苦しい状況に置かれた人々の困難さやつらさについて、思いをはせることです。もし自分が、大切な家族を失ったら、今住んでいる家が壊されて住むところなくなったら、言葉も分からない国で突然生活をしなければならなくなったら、そういうことを考えてほしいという話をしました。

もう一つは自分にできることを考えることです。今、困難に遭遇した人々を支えるために、様々な活動が立ち上がっています。そうしたものにできることについては協力する、それまでは自分のやるべきとをきちんと行うことが支援につながる、そうしたことについて話をしました。

新型コロナウイルスや大きな自然災害など、自分たちの力が及ばない局面に遭遇することがいつ何時起きるかわかりません。困難に直面し苦しんでいる人々に思いをはせたり、自分にできることは何かを考えたりする、そうしたことを子どもたちに伝えていきたいと思います。



2年生アグリパーク



3年生交通安全教室



1年生学校探検